

単元名：天津でおみやげを買ってこよう

科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書名(対応)	-
話題分野	買い物	言語レベル	1	必要時間数	4～5時間

I 単元目標

中国でおみやげを買ってくるために事前に情報収集しお土産リストを作って、実際の買い物をする。帰国後買ってきたおみやげのリストを作成し、クラスで紹介できる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆ロールプレイで「見てください」「～をください」など伝える。店で、品物があるかどうか聞いたり、見せてほしいと言ったりして、買い物をすることができる。 ◆中国語で書かれた売場の表示と絵をマッチングすることができる。 ◆買い物リストを簡体字を用いて作成することができる。 ◆店員とやり取りすることができる。(コミュニケーション・ストラテジー) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆中国のお土産の習慣(渡す場面、用意するもの、適正な価格など)について、日本の習慣と比較しながら理解することができる。 ◆為替レートについて知り、日中の物価の違い、値段のつけ方の違いについて理解することができる。 ◆中国の各地の特産品について関心を持つことができる。 <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆国や地域間の物価の違いを知り、その要因やそれが世界経済との関連について考えることができる。(知識理解) ◆商品や通貨換算レートについて調べ、持って行く金額を決めることができる。(情報活用) ◆予算とクラスメイトの好みを考えながら買ってくるお土産のリストを作ることができる。(高度思考) <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>

<p>コミュニケーション能力指標</p>	<p>【買い物】</p> <p>1-a. 中国語で書かれた案内図などを見て、自分が買いたい物の売り場を、探すことができる。</p> <p>1-b. 基本的な接客表現を、聞いて理解できる。</p> <p>1-c. メモを見せたり、身ぶり手ぶりを交えたりして、自分が買いたいものがあるかどうかを尋ねることができる。</p> <p>1-d. 店員に値段を尋ねて数字を示してもらうなどして、価格を把握できる。</p> <p>1-e. 購入する意思の有無を、口頭で伝えることができる。</p> <p>1-f. 商品を指さしながら、口頭で見せてほしいと店員に頼むことができる。</p> <p>1-g. 広告やカタログなどを見て、買いたいもののリストを作ることができる。</p> <p>1-h. 購入したものの包装依頼や、入れる袋の要不要を、言うことができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。</p>
----------------------	--

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆中国語で書かれた売場の表示と絵をマッチングする。(正確さ) ◆買いたいものを伝えるロールプレイをする。(伝え方の適切さ、発音の正しさ、指数字の活用等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆インターネットで調べて買いたいもののリストを作る。(情報量、中国語表現・表記の正しさ) ◆買ってきた物リストを作成する。(中国語の簡体字、ピンイン表記の正確さ、予算との収支バランス、反省点等)

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆ カードまたはプリントで、中国語で書かれた売り場の表示と絵をマッチングする。【1-a】</p> <p>◆ 買いたいものがあるかどうかを尋ね、品物を「見せてください」と言い、ほしいかどうかを伝える一連の用語を店員役と客になってロールプレイで練習する。【1-c,e,f】</p> <p>◆ 商品とその名前が書かれた一覧表、あるいは、写真または絵とその名前が書かれた表を見て、中国語の簡体字を用いて、書く練習をする。【1-g】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> 中国語を学習しているQ高校生が自分の高校を代表して天津のサマーキャンプに参加することになった。参加生徒は学校のみんなにお土産を買ってくることにした。</p> <p><活動の流れ> 自分の学校の誰にお土産を買ってあげればいいのか、買いたいか考える。決められた予算内で誰に何をどれだけ買ったらいいかインターネットで調べたり、本人の要望を聞いたりして、買い物リストを作る。買い物リストの品物が中国語で何と言うか調べる。 天津では店の看板や案内図を見ながら目的の店を探す。店員に自分の作ったリストを指さしながら、それがあがるかどうか聞いたり、実際に品物を見せてもらったり、欲しい数を指で示したりして買い物をする。お土産なので包装を依頼する。 帰国後、品物の紹介とともに、その品物を買うまでの行動を内省し、自分の事前準備がよかったかどうかを考えて発表する。今後の参考のために、クラスで中国で買ったものを、買った場所や値段を含めて中国語でリスト化し、内省したことも日本語で備考に入れておく。また、日中の物価の違いと世界経済との関係について話しあう。</p> <p>ヒント☞ ◆ 現地に行けない時は日本国内で中国語を使って買い物ができるところに行ったり、教室の中でロールプレイを行ったりする。</p>	
<p><使用教材・教具> 一覧表(売場の表示と絵、商品とその名前)、ワークシート(買い物リスト)、インターネット、振り返りシート</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 有圆珠笔吗?/这个东西,有没有?/我要这个。/我想买一个这个。/这个要不要?/不要。/不好意思(麻烦你),我想看一下那个。/那个,请给我看一下,好吗?/是这个吗?/对,就是这个。/不是这个,是那个。</p> <p><表現のポイント> 略語、類語、動詞述語文“有”、“吗”疑問文、反復疑問文、助動詞“想”/“要”、指示代名詞“这个”/“那个”、数量詞“个”、動詞述語文“要”、助動詞“想”/“要”、命令文“请”、動詞+“一下”、指示代名詞“这个”/“那个”、副詞“就”、介詞“给”</p>	<p>女装、鞋、女包、配饰、服飾、表、珠宝首饰、职业装、男装、杂物、活动时间、商品、特价、原供价、备注、面包、蛋糕、压榨花生米、果冻、珍珠奶茶、杯面、八宝粥、洗洁精、洗衣粉、沐浴露、洗发露、套装、双效防晒霜、杀虫气雾剂、痱子粉、牙膏、手电筒、香皂、衣架、电蚊拍、卫生纸、手帕纸、平脚裤、T恤衫、圆珠笔、要、不要、有、没有、这个、那个、不好意思、麻烦、想、看、请、就、给、一下、对</p>	<p><事象> ◆ お土産に買うもの ◆ 中国のお土産の習慣 ◆ 商品の値段 ◆ 指数字 ◆ 為替レート</p> <p><事象のポイント> ◆ 日本国内でも他の地域に行った時、日本人は一般的に何を買ってくるのかを思い出し、特産品がお土産になっていることに気づき、天津の特産品は何かを調べる。 ◆ これに対して中国人なら何を買うのか、中国のお土産の習慣はどうか考える。 ◆ 商品の値段を調べることで、物価の違いに気づく。 ◆ 手の指を使った数の示し方は、必ずしも世界各地で同じでないことに気づく(中国では6以上の数も片手で数える)。 ◆ 中国元への換算は、日本円とアメリカドルの換算レートに影響されていること、為替レートの仕組みについて知る。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
中国の商店		地理(地図)、歴史、公民(通貨換算レート)